

中央検査部

《概要》

検体検査(生化学・免疫・血液・一般検査)部門については、平成23年10月でアルフレッサとの検体検査一元化の5年契約が終了した。しかし、主力となる大型自動分析機や分注機・搬送機等が健在である現状と次期初期投資・ランニングコストまでを考慮すると、老朽化した測定機のみを入れ替えて延長契約する事が最良の選択となった。入れ替えた測定機は、血液凝固分析装置と全自動尿統合分析装置、グルコース・グリコヘモグロビン分析装置、浸透圧測定機の5台である。現在、精度の向上・良質な検査結果の報告や検査の迅速化に貢献している。

次に、生理機能検査部門について、DPCによる外来検査の増加や検査予約の見直し・新たに導入した検査等で検査件数が増加した。特に超音波検査については、中央検査科内での生理機能検査室への人員配置を増やしたにも関わらず、増加する超音波検査に対応が困難になってきている。今後、検査部屋数及び超音波検査装置数を増やし、超音波検査士を増員し対応する必要があると考えるが、課題は多い。

次に、平成25年4月の大阪府立泉州救命救急センターの当センターへの移管統合について、泉州救命救急センターの検査室運営を検討し、移管統合後の当センター中央検査科での運営方針を決めた。平成24年4月から前倒して取り組むという方針から、泉州救命救急センター検査技師の当センターへの配置、当センター検査技師の泉州救命救急センターでの当直業務への参入を決めた。

今後も平成25年4月に向け、スムーズに移管統合され、効率的な検査運営ができる様に、中央検査科全員で取り組み進めていきたい。

《実績》

平成23年度上期外来検査件数（項目数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期外来合計
生化学的検査	66,618	64,380	70,113	66,357	72,418	66,938	406,824
血清・免疫学的検査	5,017	5,054	5,477	4,848	5,452	5,146	30,994
血液学的検査	12,598	11,965	12,576	11,780	13,288	12,097	74,304
一般検査	6,172	6,442	7,051	6,676	7,553	6,936	40,830
輸血（交叉試験を除く）検査	2,524	2,466	2,751	2,571	2,780	2,418	15,510
病理組織学的検査	170	173	222	171	162	186	1,084
細胞診	608	611	697	576	549	656	3,697
微生物学的検査（一般）	400	515	577	598	652	570	3,312
微生物学的検査（抗酸菌）	27	27	24	33	30	11	152
微生物学的検査（迅速）	108	98	94	59	62	62	483
生理機能検査	2,626	2,495	2,916	2,475	2,793	2,601	15,906
合計	96,868	94,226	102,498	96,144	105,739	97,621	593,096

平成23年度上期入院検査件数（項目数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期入院合計
生化学の検査	35,871	36,685	39,088	37,890	36,725	32,677	218,936
血清・免疫学の検査	659	731	841	753	796	724	4,504
血液学の検査	8,191	8,313	9,052	8,527	9,516	8,412	52,011
一般検査	1,916	2,056	2,614	1,895	2,151	1,667	12,299
輸血（交叉試験を除く）検査	756	870	997	1,006	1,062	954	5,645
病理組織学の検査	197	162	239	207	207	149	1,161
細胞診	45	44	58	44	59	37	287
微生物学の検査（一般）	1,666	1,742	2,030	1,844	1,937	1,800	11,019
微生物学の検査（抗酸菌）	29	77	52	25	44	20	247
微生物学の検査（迅速）	28	31	21	13	14	15	122
生理機能検査	445	475	524	508	459	391	2,802
合計	49,803	51,186	55,516	52,712	52,970	46,846	309,033

平成23年度下期外来検査件数（項目数）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期外来合計
生化学の検査	65,766	65,649	64,772	67,018	67,064	69,542	399,811
血清・免疫学の検査	5,102	5,293	4,877	5,514	5,362	5,746	31,894
血液学の検査	12,203	12,181	12,106	10,281	10,143	10,535	67,449
一般検査	6,549	6,800	6,532	6,697	6,835	7,901	41,314
輸血（交叉試験を除く）検査	2,491	2,624	2,286	2,632	2,428	2,666	15,127
病理組織学の検査	165	198	169	164	171	189	1,056
細胞診	717	638	623	582	625	707	3,892
微生物学の検査（一般）	505	485	493	558	514	488	3,043
微生物学の検査（抗酸菌）	57	24	21	19	60	20	201
微生物学の検査（迅速）	72	67	148	213	230	169	899
生理機能検査	2,630	2,689	2,604	2,518	2,933	2,955	16,329
合計	96,257	96,648	94,631	96,196	96,365	100,918	581,015

平成23年度下期入院検査件数（項目数）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期入院合計
生化学の検査	36,688	37,366	41,312	41,890	38,798	37,923	233,977
血清・免疫学の検査	808	718	844	813	747	883	4,813
血液学の検査	9,640	9,762	10,723	8,238	7,289	7,369	53,021
一般検査	1,818	2,480	2,380	2,423	2,357	2,266	13,724
輸血（交叉試験を除く）検査	859	799	1,097	994	946	981	5,676
病理組織学の検査	187	180	193	178	175	189	1,102
細胞診	27	52	39	30	30	23	201
微生物学の検査（一般）	2,176	2,241	2,343	2,420	2,004	2,065	13,249
微生物学の検査（抗酸菌）	24	59	39	14	32	33	201
微生物学の検査（迅速）	19	29	28	22	46	30	174
生理機能検査	401	476	534	545	535	546	3,037
合計	52,647	54,162	59,532	57,567	52,959	52,308	329,175

平成23年度病理解剖

病理解剖件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
	2	1	1	0	1	2	7
病理解剖件数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
	1	3	1	0	0	1	6

平成23年度心電図（一般・負荷）件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
心電図（一般） 外来	850	849	986	863	950	849	5,347
	139	143	158	164	123	125	852
心電図（負荷） 外来	154	135	179	112	132	121	833
	1	1	2	0	2	1	7
合 計	1,144	1,128	1,325	1,139	1,207	1,096	7,039

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
心電図（一般） 外来	887	871	815	816	998	972	5,359
	109	111	122	136	140	143	761
心電図（負荷） 外来	137	109	124	109	173	142	794
	3	2	1	2	1	2	11
合 計	1,136	1,093	1,062	1,063	1,312	1,259	6,925

平成23年度超音波検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計	
腹部	外来	393	333	407	368	398	405	2,304
	入院	49	55	51	39	57	36	287
心臓	外来	353	350	413	300	387	351	2,154
	入院	107	106	123	127	105	64	632
頸動脈	外来	117	90	111	118	99	113	648
	入院	14	16	18	16	10	14	88
乳腺・甲状腺	外来	627	316	313	312	345	334	2,247
	入院	56	6	10	8	13	11	104
その他	外来	60	62	72	48	69	70	381
	入院	17	26	23	25	22	18	131
合 計	1,793	1,360	1,541	1,361	1,505	1,416	8,976	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計	
腹部	外来	365	403	391	389	368	391	2,307
	入院	62	61	53	68	36	71	351
心臓	外来	356	340	392	343	444	441	2,316
	入院	93	116	136	150	138	130	763
頸動脈	外来	100	127	113	91	110	133	674
	入院	14	17	29	31	33	27	151
乳腺・甲状腺	外来	341	344	360	340	356	376	2,117
	入院	12	18	20	14	13	13	90
その他	外来	62	73	62	61	68	70	396
	入院	19	45	39	32	36	40	211
合 計	1,424	1,544	1,595	1,519	1,602	1,692	9,376	

平成23年度 CPC 症例

解剖番号	性別	年齢	診療科	臨床 診断	病理 診断 (主 病 変)	CPC 実施日
428	女	59	内	抗リン脂質抗体症候群、脳梗塞	抗リン脂質抗体症候群(多発性脳梗塞、右下肢切断術後状態、僧帽弁非細菌性血栓性心内膜炎、小動脈炎)、くも膜下出血(右後下小脳動脈動脈瘤破裂)	2011.12.15
492	女	79	内	多発性骨髄腫、慢性腎不全、洞不全症候群、右乳癌術後	多発性骨髄腫(転移:肝、脾、腎、横隔膜、リンパ節)、腎臓萎縮、右乳癌術後状態(充実腺管癌、再発・転移なし)、アミロイドーシス(心臓)、心臓拡張性肥大	2012.3.7
485	男	76	内	骨髄異形成症候群・肺炎	骨髄異形成症候群、肺胞蛋白症、高度ヘモジデリン沈着(肝臓、脾臓、膵臓、リンパ節)、非特異性肝炎	2012.3.7
495	男	88	内	誤嚥性肺炎、慢性腎不全、高血圧、右膝人工関節置換術後、完全房室ブロック、ペースメーカー植込術後	肥大型心筋症、萎縮腎、細小動脈硝子様変性(膵臓、脾臓、副腎)、大動脈粥状硬化症、ペースメーカー植込術後状態、腸骨静脈壁血栓、慢性心外膜炎、慢性胸膜炎、左無気肺、右肺うっ血・水腫	2012.3.28
490	男	85	内	非ホジキン悪性リンパ腫	悪性リンパ腫(びまん性、大細胞型、B細胞性、浸潤:肝、脾、腎、膵、肺、精巣、胆嚢、横隔膜、心外膜、骨髄、全身リンパ節)、頸静脈壁血栓、大動脈粥状硬化症	2012.3.28

(* 平成23年度 病理解剖件数 13体)

《業績》

(1) 学会・研修会報告 (2011.4~2012.3)

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース 鏡検実習講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース	2011.4.30
2	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース 鏡検実習講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース	2011.5.7
3	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース 鏡検実習講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース	2011.5.14
4	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース 鏡検実習講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース	2011.5.21
5	側脳室内に発生した中枢性神経細胞腫の一例	大重友紀 他	第52回日本臨床細胞学会	2011.5.21
6	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース 鏡検実習講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース	2011.5.28
7	「検体検査全般及び薬剤を使用して行う検査」について	三ノ浦保彦	医療通訳フォローアップセミナー	2011.6.5
8	「生理学的検査」について	林 孝昭	医療通訳フォローアップセミナー	2011.6.5
9	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース 鏡検実習講師	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会・血液形態セミナー・ジュニアコース	2011.6.25
10	「微生物の基礎知識」	須合恵美	平成23年度院内エキスパート研修 感染管理	2011.11.9
11	乳癌に対するラジオ波焼灼術後の超音波像の検討	中村雅美 他	日本超音波医学会 第38回関西地方会学術集会	2011.11.12
12	尿管管遺残症における超音波像の検討	川本英子 他	日本超音波医学会 第39回関西地方会学術集会	2011.11.12
13	当院で経験した左室内粘液腫の1例	林 孝昭 他	日本超音波医学会 第40回関西地方会学術集会	2011.11.12
14	当院で経験した虫垂粘液嚢腫の3例	沼田寿子 他	日本超音波医学会 第41回関西地方会学術集会	2011.11.12
15	りんくう総合医療センターにおける臨床とソノグラフィアの現状	中村雅美 他	第11回りんくう乳腺・内分泌研究会	2011.12.10